

<ニューイヤー駅伝 in ぐんま～第68回全日本実業団対抗駅伝競走大会～>
区間割とコースの一部見直しについて

2024年1月1日に開催予定の「ニューイヤー駅伝 in ぐんま～第68回全日本実業団対抗駅伝競走大会」につきまして、下記の通り区間割とコースの一部見直しを行うこととなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 区間割の見直しについて

(1) 見直しの背景・趣旨

- 当連合では、日本最速駅伝としての大会の醍醐味や、真剣に競技に取り組む選手の姿をより一層表出化させることを目指し、ニューイヤー駅伝の改革について継続的に検討しております。今般、地元関係者の方々との緊密な連携のもと、現行コースや中継所を極力踏襲した形で、区間割の見直しを行うことといたします。

(2) 見直し内容

- 従来の2区（高崎市役所～前橋市公田町：8.3km）と3区（前橋市公田町～伊勢崎市役所：13.6km）を合算（21.9km）のうえ新2区とし、「日本人選手エース区間」として位置づけます。
- 従来の4区（伊勢崎市役所～太田市役所：22.4km）を分割して新しい中継所を設置し、新3区（約15km）と新4区（約8km）としたうえで、外国人競技者が出場できる区間（インターナショナル区間）は新4区のみとします。

2. コースの一部見直しについて

(1) 見直し理由

- 大会関係者より、従来の4区（上記「1」により見直し後は新3区）のコースに位置する東武伊勢崎線（境町駅～剛志駅間）第469号踏切道について、安全上の理由により、同踏切道を通らないコースへの変更の要請がありました。

(2) 見直し内容

- 踏切道を回避し、近隣の高架道を通るコースに変更いたします。この結果、踏切道通過時との距離と比較し約500m増加することとなります。
- 上記の約500mの増加分については、6区（桐生市役所～伊勢崎市西久保町）のコースを変更（短縮）することで吸収し、コース全体としては従来通り100kmといたします。

3. その他

上記「1」「2」の結果、各区間の距離は概ね下記の通りとなる予定です。なお詳細なコース図や、新しい中継所（中継点）などについては、決定次第お知らせいたします。

【現 行】

1区	2区※	3区	4区	5区	6区	7区	合計
12.3km	8.3km	13.6km	22.4km	15.8km	11.9km	15.7km	100km

【見直し後】3区以降の距離は、今後詳細な中継点を確定するため概算となります。

1区	2区	3区	4区※	5区	6区	7区	合計
12.3km	21.9km	約15km	約8km	約15.8km	約11.5km	約15.5km	100km

※外国人選手が出場可能な区間

以上